

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《社会(社会)》

※詳細については、資料Ⅱ(社会-4～社会-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい社会
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句を説明する『用語かいせつ』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、働く人の工夫について、調べたことをもとに話し合い新聞にまとめるなどの学習活動が『まとめる』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した内容を生かして、地域や社会の課題について考え話し合うなどの学習活動が『いかす』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害から暮らしを守る』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報との関わり方や、情報を活用する産業について扱った『情報化した社会と産業の発展』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の人たちが消防団として消火訓練や防火に取り組むようすを扱った『地いきの消防団の取り組み』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習問題をつくる場面において、気付いたことや疑問に思ったことなどを話し合うなどの学習活動が『つかむ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、外国語科と関連する世界のさまざまな国と国旗が示された『世界の中の国土』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、キャッチコピーをつくる活動をとおして、一番伝えたいことを短いことばで表現し紹介し合うなどの学習活動例を示した『まなび方コーナー』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、古くから残されている建物や祭りなどに関わる地域の人々の願いについて扱った『きょう土の伝統・文化と先人たち』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、身近な地域の農家や店舗を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『はたらく人とわたしたちの暮らし』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容の概要を示した『中学校に向けて』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報活用のルールやマナー、インターネットの活用方法について考え話し合うなどの学習活動が『情報を生かすわたしたち』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、見る範囲を拡大して示した地図の例として、市に古くから残る建物の位置を示した『福岡市の古くからのこるたて物』などが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『暮らしを守る』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、学習する單元ごとのキーワードとなる語句を示した『ことば』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が多面的・多角的に考えられることについて、防災や報道など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『○○さんの話』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる『見方・考え方』を示した『広がり注目』などが掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、3～5章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適切するようにデザインしています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《社会(社会)》

※詳細については、資料Ⅱ(社会-4～社会-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	小学社会
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、調べたことをまとめる場面に『キーワードをふり返ろう』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分たちの住む市の様子について調べたことをポスターにまとめ話し合うなどの学習活動が『まとめる』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した内容を生かして、地域や社会の課題について考え話し合う学習活動が『つなげる』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害にそなえるまちづくり』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の活用の仕方や、情報通信技術を生かした産業の様子について扱った『未来とつながる情報』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、火事に備え地域の人たちが消防団として訓練などに取り組むようすを扱った『地いきの人々の協力』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、疑問に思ったことや知りたいことから学習問題をつくるなどの学習活動が『つかむ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科と関連する円グラフが示された『自然条件と人々の暮らし』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、標語にまとめる活動をとおして、学んだことを短い文で表現するなどの学習活動例を示した『学びのてびき』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔から受けつがれる祭りや伝統芸能などに関わる地域の人々の願いについて扱った『地域で受けつがれてきたもの』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、身近な地域の店舗や工場を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『はたらく人とわたしたちの暮らし』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容の概要を示した『6年生の学習をふり返ろう』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報通信技術を扱ううえで心掛けることを考え話し合うなどの学習活動が『くらしと産業を変える情報通信技術』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、見る範囲を拡大して示した地図の例として、見学する工場の位置を示した『しゅうまい工場の場所』などが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『わたしたちのまちと市』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、学習内容に関連する語句を示した『キーワード』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が多面的・多角的に考えられることについて、製造業や農業など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『場所や広がり』などが掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、3～6章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《社会(社会)》

※詳細については、資料Ⅱ(社会-4～社会-10)を参照。

発行者の略称	日文	書名	小学社会
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、『直売所』など、学習内容に関連する語句を解説するコーナーが掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、市の安全を守る取組について調べたことをもとに話し合うなどの学習活動が『問題を追究・かいつくする力を身につけよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した内容を生かして地域や社会の課題について考え話し合うなどの学習活動が『問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害から人々を守る活動』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、メディアの特徴やその影響、情報を生かして発展する産業について扱った『情報社会に生きるわたしたち』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の安全を守る消防団の活動について扱った『地いきの消ぼうだん』などが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、気付いたことなどをもとに学習問題をつくるなどの学習活動が『問題を発見する力を身につけよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連する火山の噴火や台風の進路などが示された『日本の地形や気候』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、カードにまとめ話し合う活動をとおして、考えを深め合うなどの学習活動例を示した『学び方・調べ方コーナー』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、古くから伝わる行事や祭り、それを支える地域の人々の思いについて扱った『わたしたちのまちに伝わるもの』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、身近な地域の工場や店舗を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『わたしたちのくらしとまちではたらく人びと』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容の概要を示した『中学校へ向かって』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、マスメディアによる情報の伝え方や関わり方とその影響などについて考え話し合うなどの学習活動が『情報社会に生きるわたしたち』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、見る範囲を拡大して示した地図の例として、市などの位置や範囲を示した『わたしたちが住んでいる市のように』などが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『わたしたちのくらしとまちではたらく人びと』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、学習内容に関連する語句を解説する『キーワード』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が多面的・多角的に考えられることについて、接客業や観光業など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『空間』などが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、3～5章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(社会)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、第3学年では、農家の仕事に関連した『特産品』、第4学年では、身近な川の環境に関連した『ビオトープ』など、学習内容に関連する語句を説明する『用語かいせつ』が掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、第3学年では、身近な地域の学習に関連した『方位』、第4学年では、都道府県の学習に関連した『地形』など、調べたことをまとめる場面に『キーワードをふり返ろう』が掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、第3学年では、れんこん農家の仕事に関連した『直売所』、第4学年では、ごみの処理と活用に関連した『t(トン)』など、学習内容に関連する語句を解説するコーナーが掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、スーパーマーケットで働く人の工夫について、調べたことをもとに話し合い新聞にまとめる学習活動が『まとめる』に設定されている。第5学年では、水産業に携わる人たちの工夫や努力について調べたことなどをプレゼンテーションソフトを使ってまとめる学習活動が『まとめる』に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、自分たちの住む市の様子について調べたことを白地図を使ったポスターにまとめ話し合う学習活動が『まとめる』に設定されている。第5学年では、森林と自分たちのくらしとの関わりについて関係図に整理して考え話し合う学習活動が『まとめる』に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、市の安全を守る取組について調べたことをもとに話し合う学習活動が『問題を追究・かいつくする力を身につけよう』に設定されている。第5学年では、グラフや資料をもとに、自然災害から命やくらしを守るためにどのようなことが大切か考え話し合う学習活動が『問題を追究・解決する力を身につけよう』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、ごみを減らすために自分たちができることを考え話し合う学習活動が、第5学年では、新しい食料生産の工夫や取組について紹介し合うなど、学習した内容を生かして、地域や社会の課題について考え話し合う学習活動が『いかす』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、ごみを減らすために自分たちができることを考え話し合うなどの学習活動が、第5学年では、国内の食料生産について考えたことを書き表すなど、学習した内容を生かして、地域や社会の課題について考え話し合うなどの学習活動が『つなげる』に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、ごみを減らすために自分たちができることを考え話し合うなどの学習活動が、第5学年では、これからの食料生産のあり方など、学習した内容を生かして地域や社会の課題について考え話し合うなどの学習活動が『問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、第4学年では、風水害から人々の命を守るために、市や地域で行う取組や自助の取組など、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害からくらしを守る』が掲載されている。第6学年では、東日本大震災の被害からの復旧・復興に向けた取組や人々の願いについて扱った『震災復興の願いを実現する政治』が掲載されている。
教出	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、第4学年では、風水害から命を守るための家庭や学校、地域の備えや市役所の取組など、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害にそなえるまちづくり』が掲載されている。第6学年では、東日本大震災によって被害を受けた人々の願いを実現するための取組について扱った『災害からわたしたちを守る政治』が掲載されている。
日文	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、第4学年では、風水害や地震などに備えて地域で行う対策や復旧・復興に向けた取組など、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害から人々を守る活動』が掲載されている。第6学年では、豪雨災害による被害からの復興を目指した行政や地域の人々の取組について扱った『自然災害からの復旧や復興の取り組み』が掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、コンピュータでの商品管理やスマートフォンアプリのポイントサービスなど情報を活用したスーパーマーケットの取組について扱った『店ではたらく人』が掲載されている。第5学年では、情報との関わり方や、コンビニエンスストアや運輸業、観光業など、情報を活用する産業について扱った『情報化した社会と産業の発展』が掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、コンピュータで商品管理を行うスーパーマーケットや、インターネットでの買い物など、くらしの中の情報化について扱った『店ではたらく人と仕事』が掲載されている。第5学年では、情報の活用の仕方や、スーパーマーケットや観光業、医療など、情報通信技術を生かした産業の様子について扱った『未来とつながる情報』が掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、市役所からの防犯メールや市民通報アプリなど、情報を活用してくらしの安全を守る取組について扱った『安全なくらしを守る』が掲載されている。第5学年では、メディアの特徴やその影響、アイスクリーム会社や観光業、医療などを例に、情報を生かして発展する産業について扱った『情報社会に生きるわたしたち』が掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第3学年では、地域の人たちが消防団として消火訓練や防火に取り組むようすを扱った『地いきの消防団の取り組み』が掲載されている。第4学年では、地域の人々が協力して景観を守り、観光によるまちづくりに取り組む姿を扱った『美しい景観を生かすまち・松島町』が掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第3学年では、火事に備え地域の人たちが消防団として訓練などに取り組むようすを扱った『地いきの人々の協力』などが掲載されている。第4学年では、資源ごみの回収箱を置くスーパーマーケットや地域で資源ごみの回収を行う自治会の取組などを扱った『地域の人々の取り組み』が掲載されている。
日文	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第3学年では、地域の安全を守る消防団の活動について扱った『地いきの消ぼうだん』などが掲載されている。第4学年では、地域の人がボランティアガイドとして観光案内を行うなど地域の文化財を活用したまちづくりの取組を扱った『土地の文化財を生かした地いき』などが掲載されている。

### 3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、第3学年の『市の様子』では、学習問題をつくる場面において、空から撮った写真や地図帳を見て気付いたことや疑問に思ったことなどを話し合う学習活動が、第6学年の『わたしたちのくらしと日本国憲法』では、イラストなどから日本国憲法とくらしのつながりについて考え、学習問題を設定するなどの学習活動が、それぞれ『つかむ』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、第3学年の『工場ではたらく人と仕事』では、スーパーマーケットを調べる中で疑問に思ったことや知りたいことから学習問題をつくる学習活動が、第6学年の『わたしたちの暮らしを支える政治』では、写真やグラフから社会の課題について考え学習問題をつくる学習活動が、それぞれ『つかむ』に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、第3学年の『市のようすとくらしのうつりかわり』では、昔と今の写真を見比べて気付いたことなどを話し合い、学習問題をつくる学習活動が、第6学年の『わたしたちの願いと政治のはたらき』では、待機児童に関するグラフや主題図を見て気付いたことなどをとらえて学習問題をつくる学習活動が、それぞれ『問題を発見する力を身につけよう』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすい工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、外国語科と関連する世界のさまざまな国と国旗が示された『世界の中の国土』が掲載されている。また、他教科等と関連する内容がある箇所に『教科関連マーク』が掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、算数科と関連する円グラフが示された『自然条件と人々のくらし』が掲載されている。また、『他の教科などとの関わり』が掲載されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、理科と関連する火山の噴火や台風の進路などが示された『日本の地形や気候』が掲載されている。また、総合的な学習の時間への関連付けとして『未来につなげる～わたしたちのSDGs～』が掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、第3学年では、キャッチコピーをつくる活動をとおして、農家の人の工夫など一番伝えたいことを短いことばで表現し紹介し合う学習活動例を示した『まなび方コーナー』が掲載されている。第4学年では、伝統工芸品のこけしの魅力を4コマCMで伝える学習活動例を示した『まなび方コーナー』が掲載されている。
教出	言語能力の育成について、第3学年では、消防の取組の中から自分が大切だと思うことを標語にまとめる活動をとおして、学んだことを短い文で表現する学習活動例を示した『学びのてびき』が掲載されている。第4学年では、学んだことをもとに地域のよさについて理由や自分の思いも踏まえて紹介する学習活動の例を示した『学びのてびき』が掲載されている。
日文	言語能力の育成について、第3学年では、火事から安全な暮らしを守るために自分たちにできることをカードにまとめ話し合う活動をとおして、考えを深め合う学習活動例を示した『学び方・調べ方コーナー』が掲載されている。第4学年では、水がどのように送られてくるかなど、学習問題について自分の考えをまとめる学習活動例を示した『学び方・調べ方コーナー』が掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では、古くから残されている建物や祭りなどに関わる地域の人々の願いについて扱った『きょう土の伝統・文化と先人たち』が掲載されている。第6学年では、室町文化と現在とのつながりなどについて扱った『今に伝わる室町文化』が掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では、昔から受けつがれる祭りや伝統芸能などに関わる地域の人々の願いについて扱った『地域で受けつがれてきたもの』が掲載されている。第6学年では、現在も残る室町時代の文化について扱った『室町文化と力をつける人々』が掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では、古くから伝わる行事や祭り、それを支える地域の人々の思いについて扱った『わたしたちのまちに伝わるもの』などが掲載されている。第6学年では、今に残る建築物や伝統芸能などについて扱った『今に伝わる室町の文化と人々の暮らし』などが掲載されている。

⑪ 体験活動の充実

東書	体験活動の充実について、第3学年では、いちご農家やスーパーマーケットを例に、身近な地域の農家や店舗を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『はたらく人とわたしたちの暮らし』に設定されている。第5学年では、自動車工場の見学や工場働く人へインタビューする学習活動が『自動車をつくる工業』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第3学年では、スーパーマーケットやしゅうまい工場を例に、身近な地域の店舗や工場などを見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『はたらく人とわたしたちの暮らし』に設定されている。第5学年では、自動車工場の見学や工場働く人へインタビューする学習活動が『未来をつくり出す工業生産』に設定されている。
日文	体験活動の充実について、第3学年では、かまぼこ工場やスーパーマーケットを例に、身近な地域の工場や店舗を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと』に設定されている。第5学年では、自動車工場の見学や工場働く人へインタビューする学習活動が『自動車工業のさかんな地域』に設定されている。

⑫ 学校段階間の円滑な接続

東書	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、地理・歴史・公民の3つの分野に分かれることなど、中学校の学習内容の概要を示した『中学校に向けて』が掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、中学校の学習内容を地理・歴史・公民の分野ごとに示した『6年生の学習をふり返ろう』が掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、中学校の学習内容や関連する写真などを地理・歴史・公民の分野ごとに示した『中学校へ向かって』が掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成

東書	情報活用能力の育成について、第4学年では、調べたことをもとに県の特徴を紹介するパンフレットを作成するなどの学習活動が『県の広がり』に設定されている。第5学年では、情報活用のルールやマナー、インターネットの活用方法について考え話し合うなどの学習活動が『情報を生かすわたしたち』に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、第4学年では、土地利用図と地形図を並べて見ることで、土地利用と地形との関係を考えるなどの学習活動が『学びのてびき』に設定されている。第5学年では、スマートフォンやキャッシュレスの支払い、情報通信技術を扱ううえで心掛けることを考え話し合うなどの学習活動が『暮らしと産業を変える情報通信技術』に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、第4学年では、2つのグラフを読み取り気付いたことについて話し合うなどの学習活動が『暮らしをささえる水』に設定されている。第5学年では、マスメディアによる情報の伝え方や関わり方とその影響、情報社会のあり方について考え話し合うなどの学習活動が『情報社会に生きるわたしたち』に設定されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、第3～6学年で、見る範囲を拡大して示した地図の例として、市に古くから残る建物の位置を示した『福岡市の古くからのこるたて物』などが掲載されている。また、第3学年では、地図記号と関連する写真を並べて示した『いろいろな地図記号』などが掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、第3～6学年で、見る範囲を拡大して示した地図の例として、見学する工場の位置を示した『しゅうまい工場の場所』などが掲載されている。また、第3・4学年では、学習の見通しの例として、小單元ごとに具体的な学習活動の順序を示した『活動』が掲載されている。
日文	児童の学習上の困難さへの対応について、第3～6学年で、見る範囲を拡大して示した地図の例として、市などの位置や範囲を示した『わたしたちが住んでいる市のようす』などが掲載されている。また、第3学年では、見学メモの書き方を示した『店ではたらく人びとの仕事』などが掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、第3学年では消防士の仕事などについて、第6学年では各時代の特色などについて、それぞれ映像をとおして理解を深めるなど、1人1台端末を活用できる学習活動が、『くらしを守る』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、第3学年では方位磁針の使い方などについて、第6学年では能の舞台などについて、それぞれ映像をとおして理解を深めるなど、1人1台端末を活用できる学習活動が、『わたしたちのまちと市』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	児童の理解が深まる構成について、第3学年ではれんこん農家の仕事などについて、第6学年では日本と国際社会の関わりなどについて、それぞれ映像をとおして理解を深めるなど、1人1台端末を活用できる学習活動が、『わたしたちのくらしとまちではたらく人びと』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 社会的事象に関する基礎的な知識や技能などを習得させるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、第3学年では『交通』、第4学年では『リサイクル』など、学習する單元ごとのキーワードとなる語句を示した『ことば』が掲載されている。また、その一覧が掲載されている。
教出	基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、第3学年では『公共しせつ』、第4学年では『3R』など、学習内容に関連する語句を示した『キーワード』が掲載されている。また、その一覧が掲載されている。
日文	基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、第3学年では『地図記号』、第4学年では『ハザードマップ』など、学習内容に関連する語句を解説する『キーワード』が掲載されている。また、その一覧が掲載されている。
⑰ 社会的事象について児童が多面的・多角的に考えられるような工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童が多面的・多角的に考えられることについて、第3学年では『消防しょの山田さんの話』、第5学年では『記者の揖斐さんの話』など、防災や報道など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。
教出	児童が多面的・多角的に考えられることについて、第3学年では『しゅうまいをつくる水野さんの話』、第5学年では『農家の三輪さんの話』など、製造業や農業など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。
日文	児童が多面的・多角的に考えられることについて、第3学年では『店長の大東さんの話』、第5学年では『浅間山北麓ジオパークガイドの宮崎さんの話』など、接客業や観光業など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。
⑱ 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『広がり注目』『時間に注目』『関係するところに注目』などが掲載されている。
教出	学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『場所や広がり』『時期やうつりかわり』『くふうやかかわり』などが掲載されている。
日文	学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『空間』『時間』『かんけい』が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、『つかむ』などの学習段階順に構成されている。各学年3～5章で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、『つかむ』などの学習段階順に構成されている。各学年3～6章で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、『問題を発見する力を身につけよう』などの学習段階順に構成されている。各学年3～5章で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
日文	『この教科書は、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	<p>【第3学年】</p> <p>92ページ 地図に神奈川県の表示</p> <p>136ページ 地図に神奈川県の表示</p> <p>【第4学年】</p> <p>13ページ 『日本地図を広げて』神奈川県の特産品としてしゅうまいのイラスト</p> <p>15ページ 『空から日本を見てみると』都道府県の形と説明から都道府県名を書き込む課題</p> <p>【第5学年・下】</p> <p>6ページ 図『工業がさかんな地域の生産額と分布』</p> <p>11ページ グラフ『都道府県別の輸送用機械の生産額のわりあい』第3位</p> <p>31ページ 写真『横浜港（神奈川県横浜市）』</p> <p>32ページ 地図『京浜トラックターミナルのまわり』</p> <p>【第6学年・歴史編】</p> <p>48ページ 地図『源氏の軍の進路』鎌倉の表示</p> <p>49ページ 本文『鎌倉（神奈川県）』『鎌倉幕府』の表記</p> <p>49ページ 地図『関東地方の武士団』鎌倉、相模の表示</p> <p>50ページ 本文『鎌倉』の表記、写真『今も残る切通しの跡』、図『鎌倉と幕府の位置』</p> <p>51ページ 地図『鎌倉への道と有力御家人の領地』</p> <p>80ページ コラム『入り鉄砲と出女』、写真『復元された箱根関所』</p> <p>91ページ 図『葛飾北斎の浮世絵』（「富岳三十六景・神奈川沖浪裏」）</p> <p>104ページ 図『ペリーの上陸（横浜）』</p> <p>109ページ 図『鉄道の開通』</p> <p>【第6学年・政治・国際編】</p> <p>90ページ 写真『フランスの文化を学ぶ小学生（神奈川県鎌倉市、2021年）』</p> <p>94ページ 『ひろげる 韓国の文化』、写真『川崎市のコリアタウンで行われた農楽』</p>

<p>教出</p>	<p><b>【第3学年】</b>  ※『1 わたしたちのまちと市』（10-43ページ）が横浜市を題材に構成されている。  11ページ 写真『寺の門と「仁王さま』（萬蔵寺）、『店がならぶ駅のまわり』（中山商店街）、『線路を走る電車』（JR横浜線）  12-13ページ 写真『自分の家やよく行く場所をさがそう』  14ページ 地図『たんけんする二つのコース』  16-17ページ 地図『わかったことをまとめた絵地図』地区センターの写真など  18-19ページ 本文『鶴見川の方は、…』、写真『鶴見川とマンション、電車をかんさつする』など  20-21ページ 地図『つなげた絵地図』、写真『空からながめたまちの様子』  22-23ページ 本文『どこまでが横浜市なのかな。』、写真『空からながめた横浜港のまわり』  24-25ページ 地図『わたしたちの県の市町村』、本文『横浜市』『鎌倉市』『川崎市』など  26-27ページ 写真『横浜駅のまわり』、セリフ『横浜駅』『港北ニュータウン』など  28-29ページ 『市役所の大杉さんの話』、地図『市役所の人に見せてもらった土地の使われ方の地図』など  30-31ページ 写真『空からながめた市役所のまわり』（横浜スタジアム周辺）、地図『市役所のまわりの地図』など  32-33ページ 写真『空からながめた横浜駅のまわり』（横浜駅周辺）、地図『横浜市の主な鉄道と道路』など  34-35ページ 写真『空からながめた鶴見川の河口と、うめ立て地の様子』など  36-37ページ 写真『空からながめた「金沢市民の森」の様子』、写真『舞岡公園』など  38-39ページ 写真『空からながめた港北ニュータウンの様子』など  40-41ページ 写真『古いたてもの（横浜開港記念会館）を見学する』『赤レンガそうこ』『弘明寺』『関家住たく』など  42-43ページ 写真『横浜駅のまわり』、地図『みんなでまとめた市の土地の様子』など  50ページ 地図『みんなでまとめた買い物地図』  68ページ 写真『駅の中にある店でしゅうまいを買う』（崎陽軒）など  71ページ 地図『しゅうまい工場の場所』『横浜市の主な工場』、写真『見学する工場』（崎陽軒横浜工場）など  77ページ 図『はたらく人はどこから』  78-79ページ 地図『しゅうまいの店がある場所』など、本文『横浜駅』『新横浜駅』  80ページ 写真『横浜駅で列車の客にしゅうまいを売る（1950年ごろ）』、『工場見学係の桑田さんの話』（横浜市、中華街）  85ページ 地図『横浜市内でつくられる主な作物』、写真『キャベツ畑』（ランドマークタワー、日産スタジアム）  87ページ 地図『加藤さんの畑のある場所』  91ページ 地図『こまつなの行き先』  97ページ 地図『横浜市の消防しょ・消防しゅっちょう所のある場所』  108ページ 写真『まちの消防せつびを調べる』（初期消火箱に「中山町」の表示）  142-143ページ 写真『昔の新横浜駅とまわりの様子（1968年）』『今の新横浜駅とまわりの様子（2018年）』など  145ページ 地図『横浜市の広がり』  146-147ページ 写真『駅ではたらく人にインタビューする』、『駅ではたらく原さんの話』（『新横浜駅』）など  149ページ 地図『昔と今の緑の広がり』  150-151ページ 写真『自治会の人にインタビューする』、グラフ『横浜市の人口のうつつりかわり』など  152-153ページ 写真『地いきケアプラザではたらく人にインタビューする』、地図『昔と今の地いきケアプラザの場所』など  154-155ページ 年表『みんなで書き足した年表』  157ページ 『市役所の大杉さんの話』など  162-163ページ 写真『舞岡公園』『市役所のまわり』  165ページ 『手紙の送り方』  167ページ 『インターネットの調べ方』（「横浜市 こまつな」）  172ページ 『地図の見方』  174ページ 『地図にまとめる』『年表にまとめる』  175ページ 『この教科書に出てくる主な都道府県』</p> <p><b>【第4学年】</b>  ※『水はどこから』（50-71ページ）が相模原市を題材に構成されている。  50-51ページ 地図『神奈川県相模原市』、『学校で2か月の間に使われた水の量がしめされた検針票』  54-55ページ 地図『県内の主な水道しせつ』『谷ヶ原浄水場の位置』、写真『相模ダム・相模湖』など  56-57ページ 写真『空から見た谷ヶ原浄水場』『さくらさんが書いたカード』  60-61ページ 写真『相模湖と相模ダム』、コラム『ダムと地域の人々の生活』など  63ページ 『県の係の人の話』、写真『相模川上流の森林の中にある水源』  64ページ 写真『相模川の河口』など  65ページ 『下水処理しせつできれいにした水を、すいせんトイレで使っている競技場（神奈川県横浜市）』  79ページ 『つむぎさんたちが使っているガスを送りとどける主なガス管の広がり』  152-153ページ 『せんとく 地域に学校をひらく』（藤沢市の位置など）  172-173ページ 『箱根寄木細工のぎじゅつを受けつぐ人々』  216ページ 『この教科書に出てくる主な都道府県』</p> <p><b>【第5学年】</b>  144ページ 写真『石油タンクと製油所（神奈川県横浜市）』  158-159ページ グラフ・地図『工業のさかんな地域や都市』、写真『海ぞいに大工場や石油タンクがならぶ京浜工業地帯（神奈川県横浜市、川崎市）』  256-257ページ 『日本の工業生産をふり返ろう』（「神奈川県」「横浜市」「横須賀市」）  258-259ページ 『環境にやさしい取り組みをふり返ろう』（「かながわトラストみどり財団」「横浜市」）</p> <p><b>【第6学年】</b>  44ページ 写真『移住を体験できる施設（神奈川県秦野市）』  64ページ 『政治のはたらきをまちの中から探して考えよう 踏切に代わる地下通路の整備—川崎市』写真『かつての踏切（左）と、整備された地下通路（右）』、地図『川崎市、いわき市、葛飾区の位置』  114-115ページ 写真『鎌倉の様子（復元模型）』『朝比奈の切通し』、地図『鎌倉街道』など  161ページ 写真『箱根の関所（復元）』  172ページ 本文『横浜や長崎などでの…』、地図『条約によって開かれた港』  183ページ コラム『日本で初めて遺跡を発掘したモース』（「横浜駅から新橋駅へ…」）  214ページ 写真『焼けあとのまちを歩く子どもたち（神奈川県横浜市）』  269ページ 『多文化共生社会をともに生きる』（「川崎市多文化共生社会推進指針」など）</p>
-----------	--

日文	【第3学年】
	126-127ページ 『未来へつなげる「まちをみんなで安全にしていくために」』（相模原市、『市民つうほうアプリ「パッ！撮るん。」』など）
	166ページ 『教科書に出てきたおもな地名』（「神奈川県相模原市」）
	【第4学年】
	10-13ページ 『れんさんたちが調べた都道府県の特徴』
	152-153ページ 『村の立て直しにつくす』（「小田原市」「二宮金次郎（尊徳）」など）、地図『神奈川県』『小田原市』など
	154-155ページ 写真『報徳堀の碑』『報徳堀の跡』など
	212ページ 『教科書に出てきたおもな地名』（「神奈川県小田原市」）
	【第5学年】
	134-135ページ 『未来につなげる 限りある食料資源をたいせつにするために～横浜市の取り組み～』
	140ページ グラフ『工業のさかんなところと各工業地帯・工業地域の工業生産額』（「神奈川県」）
	288ページ 『教科書に出てきたおもな地名』（「神奈川県横浜市」）
【第6学年】	
110ページ 図『鎌倉のようす』、写真『名越の切通』など	
114ページ 図『竹崎季長の恩賞を得るための戦い』	
124ページ 『未来へつなげる「歴史と文化がおりなすまち 古都鎌倉」』（「流鏑馬」など）	
168-169ページ 図『ペリーが浦賀から江戸湾にあらわれたときのようす』『横浜（神奈川県）に上陸したペリー一行（1854年）』など	
176ページ 図『新橋・横浜間に開通した鉄道』	
222ページ 写真『日本と韓国で共催されたサッカーワールドカップ（2002年、横浜市）』	
255ページ 写真『ラグビーワールドカップ（2019年、神奈川県横浜市）』	
258-259ページ コラム『エルトゥールル号の遭難と救助活動～トルコと日本の命のかけ橋』（「横浜港」「横須賀港」など）	
282ページ 『教科書に出てきたおもな地名』（「神奈川県」）	

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)

発行者名	冊数	1年	2年	3年	4年	5年		6年	
						5年上	5年下	政治・国際	歴史
東書	6			271	331	248	263	222	317
教出	4			345	438	501		581	
日文	4			350	416	546		563	